## 継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	北朝霞公民館管理	事務事業コード	06802				
部名	生涯学習部	課名	中央公民館	係 名	北朝霞公民館	部課コード	120300

## 1. 事業概要

総合計画コード	3222										
事業年度	S 27 年度 ~	H 年度	事業類型	● ソフト事業	○ハード事業						
法令等の義務付け	<ul><li>○法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業</li><li>○義務と任意の両方を含んでいる事業</li><li>○任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務</li><li>&lt;根拠法令等(法律、条例、要綱など)&gt;</li><li>建築基準法、消防法、水道法、電気事業法朝霞市公民館設置及び管理条例</li></ul>										
めざす 目的成果	公民館は、適切に維持	公民館は、適切に維持管理され、市民は安全に、安心して、快適に利用している。									
事業内容	施設の維持管理を実施する。(清掃、警備、設備保守点検、修繕等)										
事業手法	□市の完全な直営 職員による施設設備等	✓委託等(請負、負担 等維持管理の実施及び		□市民等との協働 守点検等の外部委託							

## 2. 実施結果

【委託管理】(10業務)、日常自主点検、施設の維持管理に関する諸経費負担(光熱水費等)、施設の修繕

【日常自主点検】職員による見回り、消防防災自主点検、簡易水道設備点検(日誌記録)

H28年度の 事業の実施内容

【業務委託】(日常)機械警備・夜間管理・清掃、(定期点検)自動ドア・消防設備・電気保安・建築設備等・受水槽点検・ 植木剪定•空調設備

【その他】消臭器・玄関マット・AED借上 【設備修繕】トイレ配管修繕他

		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込				
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		8,128	7,832	12,781				
	財源内訳	[イ]国庫支出金							
		[口]県支出金							
		[ハ]地方債							
		[二]その他							
		[木]一般財源	8,128	7,832	12,781				
	b 人件費		4,397	4,397	4,397				
	総コスト( a 事業費 + b 人件費 )		12,525	12,229	17,178				
		常勤職員等(人工)	0.60 人	0.60 人	0.60 人				
		一般職非常勤職員等(時間)	時間	時間	時間				

a 事業費 (H28年度決算見 込)の執行内訳

《需用費》7,499千円(消耗品費、光熱水費、施設等修繕料)

《役務費》 19千円(簡易専用水道検査手数料)

《委託料》5,062千円(夜間管理、機械警備、自動ドア、エレベーター、消防設備、空調設備、電気保安、 清掃、建築設備、受水槽管理、植木剪定)

《使用料及び賃借料》201千円(消臭器借上料、玄関マット借上料、AED借上料) 合計 12,781千円

指標名		単位	H28目標·計画	H29目標·計画		H30目標∙計画		最終目標•計画				
			(H28実績見込)	(H29実績見	見込)	) (H30実績見過		目標年度		度		
江	活 ① 施設点検回数	同粉	口	12		12		12			12	
冶		旭赵杰谀	<b>《快回数</b>	ш	( 12 )	( –	)	( —	)	Ι	32	年度
動	2											
24/)	到 (2)			(	( —	)	( —	)	Η		年度	
<del>d:</del>	1	開館日数	*/-	日	292		292		292			292
成 ①		H	( 292 )	( —	)	( —	)	Η	32	年度		
果	2											
* 2				( )	( —	)	( —	)	Н		年度	

3. 事務事業の分析 判定 OA 必要性が高い ○ B 必要性がある程度認められる ○ C 必要性が低い □社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される ─ サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている 必要性 ✓ 法令等により、市に実施が義務付けられている 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる (市が関 □ 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい 与する必 □ その他 要性はあ <説明> るか) 市民が快適に利用できるよう点検、修繕が必要である。 判定 OA 目標よりも大きな成果が得られた OB 概ね目標の成果が得られた ○ C 目標とする成果が得られなかった ▽活動指標の目標を達成した 達成度 ▽成果指標の目標を達成した 計標に表れない事項について目標を達成した (事業の □その他 目標は達 <説明:指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 成した 活動指標については、点検後の修繕等を実施し施設の適切な管理ができた。これにより事故もなく成果指標の目標を か) 達成することができた。 <説明:留意した点について記入> 留意点 思いやり:子ども、高齢者、障害のある人など、誰にとっても利用しやすい施設管理に努めた。 参加と協働:公民館の所在する地区の特性・住民ニーズに配慮し、防災や地域コミュニティの拠り所となるよう、開かれ (政策の立 た施設管理を行った。 案・推進に 際して) 経営的な視点:計画的に施設を維持管理し、貸館事業や公民館事業の安定化を図った。 ○ I 見直す余地がない ● II 見直す余地がある程度認められる □ II 見直す余地がある □民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある □ 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある 見直し 余地 □サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある ─ 受益者負担のあり方について見直す余地がある (事業の □ 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある 内容、実 □ 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある 施手法等 ▽その他 は適切 <説明> か) 施設の老朽化により、適正な施設設備の維持管理のため計画的なメンテナンス等の見直しの余地がある。 4. 今後の展開方針〔課としての判断〕 ● A 市で継続実施 ◯ B 休止·廃止 (実施時期 : □ H28年度から ☐ H29年度から ☐ H30年度から <mark>(実施時期 : □H28年度から</mark> 事業の方向性 ○ C 民営化 H30年度から ) □ H29年度から (実施時期 : □H28年度から ○ D 国·県に移譲 ☐ H29年度から ☐ H30年度から ○E終了 (実施時期 : □H28年度まで □H30年度まで ) ○ A 拡大 成果の方向性 B 現状のまま ○ C 縮小 投人資 事業費 ○ C 縮小 ○ A 拡大 B 現状のまま 源の方 労働費 ○ C 縮小 ○ A 拡大 B 現状のまま 向性 ○ A 見直して継続 ● B 現状のまま継続 (実施時期 : H ■ 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 年度) 今 後 年度) 業務プロセス改善 (実施時期 : H の ☑ 対象·水準等の見直し (実施時期 : H 年度) 見直しの方向性 取 受益者負担の見直し (実施時期 : H 年度) 組 | 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 年度) (実施時期 : H

年度)

年度)

(実施時期 : H

(実施時期 : H

] 市民等との協働を今後導入・拡大

利用者の安全性や快適性に沿った施設保守点検と修繕に努める。

その他

方

針

方針 (次年度の改善内 容等を含めた具体

的な事業の展開方 針)